

教育研究業績書

2025年05月16日

所属：学校教育センター

資格：特任教授

氏名：中山 大嘉俊

研究分野	研究内容のキーワード
学校経営, 理科教育	学校経営, 理科教育
学位	最終学歴
教職修士, 教育学士, 法学士	大阪教育大学連合教職大学院

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. 子供と保護者とクラスをつなぐ！学級通信の編集&テンプレート 2. 子供を育む学級経営」小学館「小三 教育技術」の4月号から2・3月号	2019年3月31日明示図書より刊行 2018年4月1日2019年2月まで	学級通信の文例、ノウハウ等を掲載 平成30年4月～平成31年2月小学館「小三 教育技術」の4月号から2・3月号まで、毎号16頁、学級経営のノウハウ、事例等について堀江小学校として連載(分担執筆・監修)
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 大学から受け入れた教育実習生に対する指導	2010年6月1日～2019年10月31日	教職員の勤務等について指導
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 特別支援学校教諭二種免許状 2. 幼稚園教諭専修免許状 3. 高等学校教諭専修免許状（理科・地歴、公民） 4. 中学校教諭専修免許状（理科・社会） 5. 小学校教諭専修免許状	2020年2月 2017年3月 2017年3月 2017年3月 2017年3月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 保護者との対応について講演 2. 「公立と私立小学校の教育課程や特色」について講演 3. 研究発表「私の学校経営」 4. 教育方法学講座の招聘講師として講義 5. セーフティ・プロモーション・スクール（SPS）認定校 6. 大阪市教育センター研究指定校 7. 大阪市防災・減災モデル校 8. パナソニック財団第41回実践研究助成「特別研究指定校」 9. 大阪市ICT活用研究モデル校	2021年8月 2020年9月 2019年2月 2017年12月 2017年7月～現在 2017年4月～2019年3月 2016年4月～2020年3月 2015年4月～2017年3月 2013年4月～2015年3月	草津市教育委員会主催の管理職・主幹教諭対象の研修会（対面・WEB） 学校法人蓮光学園パドマ幼稚園で保護者・教職員（約100名）に講演（2021年度も同様の講演） 財団法人友松会本部第99回研究発表会にて発表。大阪府下の教職員、一般対象。約100名参加 大阪教育大学連合教職大学院の教育方法学講座で招聘講師として、大学院生に講義。 安全安心な学校づくりについての実践 プログラミング教育についての実践研究 安全・安心な学校づくりについての実践研究（各年度公開授業・研究発表会） ICTの教育活用についての実践研究（各年度3回の公開授業）、続いて「実践研究校」（2017～2018年度） 大阪市のICT活用の研究モデル校（小2、中2）の指定を受け、教育へのICT活用を実践研究（各年度3回の公開授業・研究会開催）。続いて、ICT活用先進校・研究指定校（平成27年4月～令和2年3月）
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 実践研究 教育実践の物語を紡ぐ 教師のライフコース	共	2023年12月	一笠書房	大脇康弘編。第1部第4章「yなすことで得られた学びの連鎖」「x教師が育つ環境 教師を育てる環境」
2. 校長1年目のあなたに伝えたいこと	共	2022年2月	教育開発研究所	共通理解から共通実践へという流れをつくり学校改革を進めた体験をもとに、日常の姿勢と改革への意思が大切であることを論述した。(執筆担当部分:「前に一歩踏み出す勇気を持つ」)
3. 保育園・幼稚園・こども園1年間の園だより 巻頭言実例72	共	2020年12月	教育開発研究所	編著者。主要な年間行事や非認知能力などについての園だよりの巻頭言実例を編集。1章「巻頭言の書き方」執筆。
4. 指導主事の仕事大全 一次世代の教育を切り開く実務・技能・知識	共	2020年3月	教育開発研究所	指導主事の体験をもとに、保護者対応も含めた業務内容や指導主事としての学びなどについて記述した。(執筆担当部分:「指導主事として得たもの」 佐々木幸寿・伊東哲編。著者
5. 1年間の園長式辞・あいさつ 実例134	共	2020年2月	教育開発研究所	「園を開く」必要性や幼稚園・保育園・こども園の保護者、地元の方々へ懇談会等でのあいさつを通じたパートナーシップづくりの内容・方法、留意点などについて解説した。(執筆担当部分:「第1章 式辞、あいさつのつくり方」)
6. 若手教師を育てるマネジメント	共	2019年11月	ぎょうせい	初任、ミドルに向かう時期等の教師を育てるマネジメント等について解説。教師像の変遷、教職員の協働の在り方等を事例をもとに解説。(執筆担当部分:「第3章 学級経営力を高める」)大脇康弘編著。著者:大脇康弘、末松裕基、中山大嘉俊 計13名
7. 子供と保護者とクラスをつなぐ!学級通信の編集&テンプレート	共	2019年3月	明治図書	子供や保護者との信頼関係を築くための学級通信の実例および留意点等について解説した
2 学位論文				
3 学術論文				
1. 武庫川女子大学における教育実習事前事後指導(中高)の実践報告	共	2023年12月	武庫川女子大学 学校教育センター 紀要	教育実習事前事後指導の在り方等について
2. 論考「学校の防災・減災」	単	2020年9月	全国市町村教育委員会連合会/編集「時報 市町村教委 No.288」	防災を学校・保護者、地域を結ぶキーとして「開かれた」教育課程を編成し、総合的な学習の時間や特別活動に位置付けて横断的な学習を展開すること、オンデマンド等の活用で経験の継承を図る等について検討・提案した。
3. 校長として学び続けることとはーA校長の事例を通してー	単	2020年8月	スクールリーダー研究会「スクールリーダー研究 第13号」	A校長を事例に校長の職務、学校改革のプランニング、実践の展開過程から得た学びと省察、プロジェクト型組織の設置とその効果、子どもの変容等から、学び続ける校長を支える環境について検討、考察した。
4. 校内授業研究の組織化に関する実践研究	単	2017年3月	大阪教育大学・学校マネジメント研究会:「学校教育論集2016 学校マネジメントの実践的研究」	指導法の改善に関わる校内授業研究の在り方について、当該研究会を活性化するための手立て、研究主任の役割、授業研究会の持ち方などについて、その問題点と要件等について検討した。校長のリーダーシップ、分散型リーダーシップの発揮、良循環サイクルの重要性等を指摘した
5. ITを活用した思考力・判断力・表現力を育む授業の創造～総合的な学習の時間での協働学習を通して～	単	2016年5月	パナソニック教育財団第41回研究助成研究成果報告書	総合的な学習の時間における情報活用能力を育む授業モデルの構築をめざし、探究過程におけるITを活用した協働学習が①情報活用能力の育成、②主体的な学び、③協働的な解決に効果があったことを、児童の記述物、授業記録等の探求プロセスでのエビデンスやルーブリック活用によるパフォーマンス評価から児童の変容を分析し明らかにした。
6. 理科学習における発展課題(IX)ー小学校第5学年及び第6学年の夏季休業中の自由研究からー	共	2003年9月30日	大阪教育大学紀要第V部門 教科教育52(1), 47-51	理科学習における発展課題について、小学生の自由研究をもとに分析した(1999年1月「理科学習における発展課題」よりの継続研究)
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
1. トラブルの芽を摘む 管理職の直覚	単	2018年5月から 2019年4月	ぎょうせい 「リーダーズ・ライブラリ」 Vol. 1～Vol. 12	教育課題と教員の指導等についてポイントを解説
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
学会及び社会における活動等				
年月日		事項		